



美郷西野峰付近（標高 800m）

国補助100%の美郷の林道工事

九月議会に提案された二四年度補正予算の中に、約五五〇〇万円の美郷地区での林道整備事業があります。この事業は全額国の補助金で行えるため、市にとってはありがたいものです。

この事業は東日本大震災の復興予算一九兆円の一部で、被災地の復興のために、木材を多く使うことを見通して行われます。

国レベルでの事業総額は一三九九億円で徳島県には五四億円が割り当てられ、林道整備

や間伐など林業を飛躍させるために使う予定です。

しかし、林道を今整備したところで、いきなり日本の林業が活発になり、安定的に木材を供給できるとは思えません。

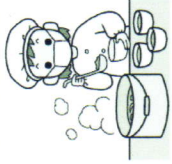
そもそも日本の林業が衰退している原因は、一九六四年に木材輸入が完全自由化されたため、安い外国材が市場に出回り、国産材の供給量は低下の一途をたどったのであり、林道が整備されていないことが原因ではありません。

市が補正予算で計上している林道整備事業は、市の景気対策としても、また将来的な林道の活用につながる面においても結構なことなのですが、国の税金の使い方として、本当に震災復興に役立つとは思えません。一三九九億円を直接被災地で直接使う方がすぐに復興につながるのではないのでしょうか。

復興予算一九兆円のうち二兆円が被災地以外で使われているそうです。こんな予算の使い方をして増税されてはたまりません。

震災復興を目的?

新給食センター 調理能力は4000食なのに 今作っているのは3400食



新しい給食センターは、幼稚園にも給食を提供する予定で建設されています。しかし市は、幼稚園や保育所の再編を理由に「慎重に検討したい」という姿勢でした。

しかし検討する間にも、生徒数が減少して、給食センターの余裕は大きくなるばかりです。（下グラフ参照）せつかく供給能力4000食の給食センターを作っても、使わないでは税金の無駄遣いです。

議会でこの問題を取り上げた高木純の質問に対し、市の教育委員会は「教育委員会としては二〇一四年度をめどに全幼稚園への給食提供をはじめた

いと考えている」と答弁しました。

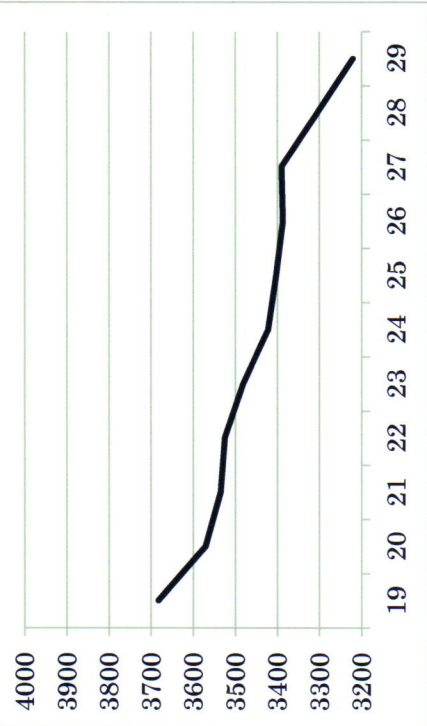
幼稚園への給食提供の要望はずっと前からありました。本来なら新しい給食センターが完成したのと同時に幼稚園にも給食を提供できるようにするべきでした。「ずっと前から言っていたのに、うちの子は間に合わなかった」

そんな、お母さんの声が聞こえます。

十三億円の建設費をかけて建てた給食センターが効率的に使われていません。民間なら施設の能力をフルに発揮させるでしょう。お役所体質を反省してほしいものです。

ずっと前から要望があるのに10〜14年から実現し?

平成19年〜29年までの給食供給数の予想推移（幼稚園に提供しない場合）



生徒数が減少するため、作る給食も減少します。

十九年から二十四年までは確定数ですが二十五年からは予想数です。教職員分も含まれます。